



元気っ子 No.228 ながさわ保育園

平成 28 年 8 月号

園 長 市 川 温 予

暑中お見舞い申し上げます。

梅雨明けしてから数日間、暑い日が続き、子ども達のだいすきなプール遊びがはじまりました。なんといても夏の遊びの第一位は水遊びです。暑い時に冷たい水に触れる、水と関わる気持ちよさ、楽しさを子ども達は全身で感じているようで、どの子も生き生きとした表情をしています。水遊び、泥んこ、プールと夏の暑い陽射しを浴びて飛びっきりの笑顔で夢中になって遊ぶ子ども達を見ていると、本当に“子ども時代を子どもらしく過ごす”ことが一番だと強く感じます。また、そのような姿を見ているとこちらまで笑顔になります。

7月の元気っ子にも書きましたが、朝から園庭でせみやカブト、クワガタなど、たもをもって汗びっしょりになって走り回る子ども達。木を見上げては、せみの抜け殻が葉っぱの裏にくっついていたりたもの長さを調整して、大きい子が背伸びをして一生懸命に捕っています。こうやって大人の管理の中ではなく、子ども同士が「あそこにおる、こっちにもおるよ」と声を掛け合い、呼び合って同じことを仲間同士で共有する時間、そして「捕れてよかったなあ、〇〇くん、すごいなあ」と共感しあうことは生きていく中でとってもとっても大事な関わり合いだと思います。とにかく何事も夢中になって一生懸命にすることが大切です。

私は、自然のもつ力や子ども達の持っている力を邪魔しないためには、まずは見守ることが第一条件だといつも思っています。しっかり見守り、本当に必要なものを必要な時にだけ与える。つい与えてしまいたくなるその思いをぐっと踏みとどまることが大人には必要だと子ども達をみていると感じます。

夏のプールの時季は、水着に着替えるので、脱いだり着たりと“着脱”の機会が多く、自分で服を脱ぐ、脱いだ服をきちんとたたむということを先生達も丁寧に伝えていきます。毎日丁寧に繰り返すことによって身につけていきます。そこで大切なことは、きちんと大人が見ていて、できたらほめてあげることです。ほめられ体験は子どもにとって自信につながり、いろんなことに挑戦していこうとする力にもつながります。

夏は子ども達が大きく成長する時季です。身も心も解放的にになり、この暑い夏を元気にそして子どもらしく、わんぱくに夏しかできないことをいっぱいして過ごしてほしいと思います。

熱中症、要注意です。

今年も気温の上昇に伴い、熱中症のことがよく報道されています。子ども達は、体温調整が未熟です。自分で衣服の調整や適切な水分をとることが難しいなど、熱中症にかかりやすいことに注意が必要です。

日差しが強い時間帯は外遊びはしない、衣服の調整に気を配る、水分補給をこまめにするのが大切です。十分に気をつけましょう。